

## 利用者の皆さんへ—湘南港の安全な管理業務の状況について—

### 1 趣旨

湘南港では、9月1日に今までの人員体制に新たに2名の増強を図り、組織全体でポート業務のサービス向上を図り安全で安心できる業務を行ってきました。

3ヶ月が経過しましたので、その状況についてお知らせします。

### 2 現状

9月1日からは、今までの6人体制から2名増員して8人体制とし、よりお客様の安全確保と利便向上に努めております。

既に皆様にお知らせしたとおり、従来に増して海面パトロールの回数を増やし、3ヶ月で39回出艇して日頃から海面の状況把握を行い、漂流物への衝突等の事故の未然防止に努めております。また、エビ網等季節により設置される漁網の把握に努め、迅速で的確なレスキュー体制を組んでおります。利用者の皆様の慎重な操艇にもよりまして、この3か月の間はディンギー艇のレスキュー要請は4回で、いずれも大事に至らずレスキューを行いました。

クレーン操作については、25tクレーンは、従前の3名から1名増員した4人で操作を行っており、艇によって異なる上下架など日々研修を行ってスムーズで安全なサービスの提供に努めております。

また、3トンクレーンは、10月15日オリンピックウィークのさなかに故障し、現在藤沢土木事務所で本格的な改修に着手しており、今しばらく暫定の移動式クレーンによる上下架になりますが、ポートサービスの操作の資格を有しているスタッフ8人全員が交互に担当して万全の支援を行い、安全確保に努めております。

さらに、出港禁止などの指導業務については、天候の急変時の判断について、加藤技能員、川又主幹等により行い、9月は特に台風の襲来の多い年でしたが、何の事故もなく無事に対処することが出来ました。さらにレースの開催につきましても、海面監視等のバックアップを行い安全なレース運営をサポートしました。

今後も、ポート業務の実際の状況については、当社のホームページで随時お知らせしていきます。

### 3 安全な管理業務の確保について

こうして、湘南港の安全業務を安定的に実施していくために、個人一人の力に頼るのではなく、日々の実務で経験を積むことにより練度を高め、社員の総力で

組織としてしっかりと業務を遂行していきます。

危機管理は個人で対応するのではなく、組織で対応すべきものです。

なお、湘南港の安全管理上、大きな問題となる3トンクレーンやクルザーバースの改修については、県藤沢土木事務所に要請を行ってまいります。

今後とも、当社は湘南港の安全な管理業務をしっかり行い、利用者皆さんのサービス向上に努めてまいります。

平成28年12月1日

株式会社湘南なぎさパーク